

海老名市立杉久保小学校 学校運営協議会 議事録
(令和3年10月3日 第2回)

- 1 日時 令和3年10月3日(日) 13:00～
- 2 場所 海老名市立杉久保小学校
- 3 出席委員 伊藤健三委員長、岩崎佐容子委員、金子由美子委員、山室修次委員、前田正晴委員、今泉直人委員、鈴木 剛委員、山川 勇校長、打野公一教頭、田村哲哉総括教諭

4 会議の内容

(1) 学校運営協議会委員長より

伊藤委員長：子どもたちの教育活動一つひとつに、心を配って実践されていることに敬意を表します。また、叡智を出し合って運動会を開催されたことに感謝いたします。

(2) 学校長より

山川校長：日々の教育活動へのご協力とご理解に感謝申し上げます。コロナ対応に追われる毎日でしたが、本日はこれからの子どもたちの支援についてご意見をお願いします。

(3) 第43回杉の子運動会参観後の感想

伊藤委員長：学校行事は、子どもたちの学校生活に変化と潤いを与え、心に残る大切なものだと思います。実施にあたっては、いろいろな課題があったでしょうが、工夫されて実施されていたことに感謝申し上げます。

山室委員：練習時間が限られて天候不順の中、児童、教職員の努力がよくわかりました。

前田委員：厳しい制限下で、できることを一つ一つ検討された苦労がうかがわれます。また、何より運動会が開催できていることの大切さを感じました。

今泉委員：種目も制限されていましたが、子どもたちは一生懸命に取り組み、楽しそうに参加しているのが印象的でした。

岩崎委員：先生方の創意工夫で、今までと違った雰囲気運動会を味わえました。

鈴木委員：台風の接近で天気が心配でしたが、当日は素晴らしい晴天で、子どもたちの元気いっぱいの姿を保護者の方たちも嬉しそうに参観していました。

金子委員：2学年ずつの分散形式となり、応援する保護者も制限されてしまい悔しい思いをしている子どももいたと思います。それでもやりきった表情をしている子どもが多く、安心しました。

(4) 今後の学校行事と感染症対策について

- ・ 6年修学旅行 (10/14 ~ 10/15)、わいわいフェスタ (11/20)、
5年野外教育活動 (12/9 ~ 12/10)
- ・ 海老名市立小中学校「学校の新しい生活様式」ガイドラインについて

(5) コロナ禍における、地域の子どもたちについて

伊藤委員長：体を動かして活動するのが子どもの特性ですが、それができない中で、大きなストレスを抱えながらの日々のようです。そのひずみがあったと思いますが、対応等、ご苦労があったと思います。

山室委員：コロナ禍の先は長いが、子どもたちの対応できる「生きる力」も増していると思います。また、日々の工夫された授業と行事を大切にする校風はできていると思います。

前田委員：子どもたちに大きな変化は感じないが、内面は少なからず変化があると思います。安全第一で、徐々に地域との交流を再開できればと思います。

今泉委員：休日のクラブ活動など、会場利用が制限されているため、練習などの機会を失うことが多いです。将来的に、精神面や技術面の成長に影響があるように感じます。

鈴木委員：飛沫感染予防のため、大きな声で挨拶を交わせないことや、マスクで友だちの顔を見られないことで、コミュニケーション不足が心配です。

岩崎委員：外に出ないで、家の中にこもっている子が多いと聞きます。体力の低下やコミュニケーションを学ぶ場が少ないことに不安を感じます。

金子委員：コロナの影響か、立哨していると欠席している子どもが多いと感じています。学校で、社会性を学んだり身につけたりする機会が少なくなることを心配しています。

(6) その他

次回の日時・内容について

- ・ 2月中旬を予定
- ・ 令和4年度 学校経営方針の提示等